

令和6年度事業報告書 別紙

【障害のある人たちの地域生活での自立を促進する事業及び障害福祉サービス事業】 に係る地域活動支援センターにおける具体の取組内容

<基礎的活動>

事業内容は茅ヶ崎市が定める地域活動支援センター事業仕様書の規定に則り実施した。

具体的には、高次脳機能障害者の当事者ボランティアによる英会話教室、パソコン、陶芸、園芸、手芸、茶道、ウォーキング、ボードゲーム、ラジオ体操と「ゆるタイム」(音楽に合わせて体を動かす)を通して、利用者が持っている力を発揮し、楽しく自立的に活動できるように、利用者と話し合いをしながら進めた。

また、レクリエーションや地域交流等、社会との交流の機会を提供した。

さらに、就労を目標にした個別リハビリ/グループリハビリ(月2回月曜、毎週木曜と金曜)を実施し、タイムリーな話題で自由に意見交換を行い、お互いを尊重し、自己理解を深める機会とした。

活動を進めるにあたっては、利用者の健康管理、利用者の心身の状況に応じた自立支援と日常生活の充実に資するために必要な保護又は支援を行うとともに、家族に対する相談及び援助も行った。また、マッサージの施術を通して、相談、支援を行った。

なお、利用者は、原則として障害者手帳の交付を受けている身体障害者、知的障害者、精神障害者とする。更に手帳の交付を受けていない高次脳機能障害者等で市長が利用を認めた者や発達障害者を含む。

以下、<基礎的活動>に付随して、実施した活動を記載する。

◆地域交流活動

あ) 茅ヶ崎市地域作業所連絡会による作品展示即売会参加

- ・茅ヶ崎市役所において年2回のふれあい作品展
- ・茅ヶ崎寒川障害者作品展示即売会参加
- ・ランチⅡ展示即売会 など

い) 地域の自治体等のイベント参加

- ・自治会の福祉ふれあい祭り参加
- ・地区の福祉懇談会参加 など

う) 地域の方々からの相談対応

- ・発達に心配のある親御さんからの相談対応を行った。

え) 地域の方々の見学、実習の受け入れ

- ・見学・体験希望者の随時受け入れ。
- ・慶應看護学部学生の実習を毎年受け入れた。(好評を頂いた)
- ・地域民生委員の方々の見学会を行った。

◆地域でネットワークを作っていく活動

様々な知識やスキルを持った地域の方々を貴重な人的資源と考え、講師として招き楽庵にて講演会や音楽会を行い、障がいのある人たちと地域の方々が感動や気づきを分かち合い語り合う場として提供した。

- ・ネットワーク講習会
実施回数 8 回

◆地域に貢献するために

- ・専門職員の配置

言語聴覚士、看護師、ケアマネージャー、鍼灸マッサージ師、システムエンジニアの資格を持つ職員で多岐にわたる相談に応じた。

- ・一時利用

市の認定を受けていない方でも相談を受け必要と思われる場合に対応している。

- ・休日開所

毎月2回土曜日、就労された方、他の施設に移られた方を中心とした「くっちゃぶる会」を行い、対話を通してお互いの意見を尊重し、自己理解を深める場となるよう支援を行った。

- ・ピアサポート

高次脳機能障害の方2名にボランティアとなっただき、英会話教室とクラフト教室を開催した。精神障害の方2名に、陶芸や手芸の手伝いを行ってもらった。

これらの活動の中で活発な会話を促すことで、自己表現や自己発見の機会を提供できたと考える。また、雑談の中からでも悩みや困りごとを発掘し、共有するよう努めた。

◆運営基盤安定のための方策

- ・事務会計業務は令和5年度に引き続き、林会計事務所にご指導いただいた。
- ・労務については、大沢労務士事務所にご指導いただいた。
- ・神奈川県指定 NPO 法人への認定に向けて、県 NPO 協働推進課にご指導いただき書類整備などを行った。

以上